

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		2019年7月31日												
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 滋賀県彦根市西今町1番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社平和堂 代表取締役社長 平松 正嗣												
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015年版													
適用範囲	株式会社平和堂 アル・プラザ醍醐 他17店舗													
導入年月日	2002年7月12日													
認証番号	JQA-EM2493													
基本方針	私たちは、お客さまのご満足度向上をめざし、安全で安心な商品やサービスの提供を行うとともに、地球環境保全のために自ら責任を持ち、全社をあげて取り組んでいきます。さらにお取引先や地域社会とのコミュニケーションを重視した環境保全活動を進めることで持続可能な循環型社会形成に寄与していきます。													
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	平成30年度環境目的・目標 環境配慮商品の販売拡大 123億円、 一次エネルギー・水道使用量の削減 原単位1%、 紙の使用枚数削減 枚数1%、 CO <sub>2</sub> 排出量の削減 原単位1%削減、 食品リサイクル率の向上 62.3%、 平和堂エコピースクラブの拡大 参加団体100団体													
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境セレクト商品の販売拡大・POP訴求・協賛企画化</li> <li>・節電・空調点検の徹底、温度管理表管理、省エネ設備への入替</li> <li>・お買い物袋持参運動の推進・ポスター掲示・店内アナウンス・キャンペーン実施</li> <li>・省エネ設備入替・エネルギー転換</li> <li>・生ゴミ分別回収リサイクル店舗の拡大、リサイクル業者の選定</li> <li>・小学校へアプローチ強化、案内パンフ改訂、実施プログラムの見直し</li> <li>・森づくり協定地域の活動計画の推進</li> </ul>													
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントプログラムに基づき、上記取組内容を実施。</li> <li>・取組内容の変更はなく、達成が難しい状況の目標については不適合として是正・予防措置を講じて改善に取り組み進めた。</li> </ul>													
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>平成30年度環境目的・目標の結果</p> <table border="0"> <tr> <td>環境配慮商品の販売拡大 123億円</td> <td>◎、</td> </tr> <tr> <td>一次エネルギー原単位 1.44%削減</td> <td>○、</td> </tr> <tr> <td>紙の使用枚数の削減 7.1%増加</td> <td>◎、</td> </tr> <tr> <td>CO<sub>2</sub>排出量の削減 2017年度対比1%削減</td> <td>△、</td> </tr> <tr> <td>食品リサイクル率の向上 62.3%</td> <td>○、</td> </tr> <tr> <td>平和堂エコピースクラブの拡大 実施団体96団体</td> <td>△</td> </tr> </table>		環境配慮商品の販売拡大 123億円	◎、	一次エネルギー原単位 1.44%削減	○、	紙の使用枚数の削減 7.1%増加	◎、	CO <sub>2</sub> 排出量の削減 2017年度対比1%削減	△、	食品リサイクル率の向上 62.3%	○、	平和堂エコピースクラブの拡大 実施団体96団体	△
環境配慮商品の販売拡大 123億円	◎、													
一次エネルギー原単位 1.44%削減	○、													
紙の使用枚数の削減 7.1%増加	◎、													
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 2017年度対比1%削減	△、													
食品リサイクル率の向上 62.3%	○、													
平和堂エコピースクラブの拡大 実施団体96団体	△													
事業活動に係る法令の遵守の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に全店舗で環境法規制等の自主点検を実施。</li> <li>・直近までの届出・報告書類等の状況確認、法定測定の実施及び基準地内の結果の確認を実施。</li> <li>・省エネ法改正に伴う報告等届出も完了。容り法・食り法の定期報告についても内容ともに問題なし。</li> <li>・各地域の条例対応についても調査確認の上、対応済みを確認。</li> </ul>													
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>マネジメントレビューについては、3月に社長へ年間のEMSの進捗状況を報告している。</p> <p>レビューの結果、①電子データの活用と事務作業の軽減化 ②廃棄物の発生抑制とリサイクルの推進 ③前年度の実績を十分に検証した上で環境目標の設定見直しこととしてトップから指示を受け2019年度の運用に繋げている。</p>													

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。